

新庁舎建設事業の進捗状況

山崎 勝他

問 新庁舎建設事業の早期実現を。キャラバンの結果、市民意見の最大集約は図られたか。

答市長 庁舎の位置に関するのと、免震構造から耐震構造への変更、建築面積、延べ床面積の削減、ガラスを減らし、シンプルなデザインとすることや、民間施設の活用など、約400件にわたる意見、提案をいただいた。建築基準法や総合耐震計画などに準じているか、精査を行っている。今後は、構造や規模等の再検討や具体的な方針を決定し、スピード感をもって庁舎建設事業を進めてまいりたい。

◆道路行政、橋梁など

問 ①市道1-2-14号線、整備促進を。②市道1-3-73号



市長キャラバンのようす

線起点、橋梁の長寿命化と幅員拡張を。

答都市建設部長 ①地権者の協力が得られるよう努めてまいります。②防護柵の腐食やコンクリート部のひび割れなどを確認しており、順次、修繕を行ってまいります。幅員拡張については、地元のニーズや接続する道路の状況などを踏まえ、研究してまいります。

積極的平和へ、何が必要か

高野 昇

問 戦後70年にあたって安倍首相談話が出された。この談話についての市長の評価は。

答市長 日本は唯一の被爆国として、世界平和が何たるかを一番に伝えるべき役割を持つてい。同時に国民の命・財産を守ってゆく責任があり、現在の中国の状況、この前のパレードを見て、きちんと日本としてとるべき立場がある。そうしたものを踏まえての首相、今の日本の流れと考える。

◆市長の政治信条は

問 過去の日本の侵略戦争を「アジア解放の正義の戦争」として美化する団体「日本会議」の地方議員連盟に、中原恵人の名前が掲載され発表されている。

市長の政治信条は。

答市長 「日本会議」は、県会議員のために、様々な観点から勉強するために入らせていただき、様々な資料を取り寄せながら、いろいろ勉強している。日本が唯一の被爆国として、平和・核の廃絶を訴えた中で、リーダーシップをとってゆくの

吉川消防署、救急隊員への暴力事件に係わる吉川市側の関与

齋藤 詔治

問 救急隊員暴力事件の、被害届、取り下げに関する市職員の対応・関与を具体的に公表を。

答政策室長 市は関与しておりませんので、述べる立場に無いものと考えております。問 私は、根拠があるから、申し上げていきます。どの様な調査をしたのか、お答えください。答政策室長 私共職員に対して一切調査をしておりません。問 役所の中には、懸命にこれを守ろうとする人と実態を解明したい人が困窮している。この状況では真の行政運営は果たせない。このような隠蔽事件は無かつた事には出来ない。市民の話では「加害者と言われる本人より『アレは造られた話で私は一切関係無い。長生きしたければ無かつた事』と脅かされ逃

をめざす。28年度基本設計を策定する中で施設内容については検討したい。

答都市建設部長 東口開発は今回公園の集約と配置の変更など見直した。総事業費は概算179億円。市負担49億円。47%減歩で保留地処分金は105億円。

小中学校のエアコン設置は遅らせるべきではない

佐藤 清治

問 日本共産党市議団の予算要望書には設置にむけ検討していくと回答していた。

答市長 エアコン設置の見直しについて伺います。答市長 設置の必要性は認識しております。エアコンの設置にとどまらず、全体を視野に入れた上で進める。問 この問題に関しては、6月議会でも予算要望書に回答した通りでございますと答弁している。今の市長答弁では、これまでの答弁より後退している。

答市長 エアコン設置の必要性は十分認識している。全体を見ながら判断していく。

◆国保の問題改善を

問 国保税は引き下げをすべきではないか。答健康福祉部長 国民健康保険税の引き下げは困難と考えております。問 加入者である子どもから均

等割3万3000円を徴収するのは問題ではないか。答健康福祉部長 国の動向を十分注視してまいります。

医師会除名の2医療機関が訴えた最高裁判決を受けて

加藤 克明

問 平成27年6月26日最高裁が除名をした2医療機関の「会員除名が正当」という地域・高裁の判断を維持する決定が下り、医師会の正当性が確定した。地域包括ケアシステムの構築など喫緊の課題も山積しており、これを機に市長が関係修復に向けて動いてみてはいかがか。

答市長 当事者間で解決すべきと捉えている。市民の利便性を考え保健事業を実施していく。問 平成25年6月議会で前市長から事態収拾に向け「一日でも早くすることを私も努力する」と答弁。そんな矢先に除名された医療機関から市を相手取り「民事調停事件」申立てが起これ、市までもが「紛争事件」の当事者となり関係修復の足かせとなった。今回、医師会HP情報で解決の糸口が出された訳ですから、双方の話を伺って、解決への橋渡しすべきと考えますか。答市長 市民の利便性を第一に考える。医師会も目指す所は同じと認識している。当事者間で解決して頂き、その先は共に進んでいければと考えている。

